



平成 25 年 4 月 23 日

各位

会 社 名 アンジェス MG株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経営企画部長 鈴木 文彦
電 話 番 号 03-5730-2641

子宮頸がんの前がん病変治療ワクチン (CIN 治療ワクチン) の漢方薬による増強効果を解明

当社の開発プロジェクトである CIN 治療ワクチンに関して、東京大学産科婦人科学川名敬准教授は、ある種の漢方薬を CIN 治療ワクチンと一緒に服用することによってその効果が格段に向上することを解明しました (Vaccine 30(2012)5368-5372)。当社は、平成 25 年 4 月 3 日付当社プレスリリースに記載の通り、バイオリダーズ社より CIN 治療ワクチンの国内外の開発、製造、使用および販売の独占的実施権を許諾されておりますが、今回の漢方薬による効果増強作用は、この CIN 治療ワクチンプロジェクトを推進するうえで重要な知見であると考え、この有用な発見の権利化を目指すことを決定いたしました。

CIN 治療ワクチンは、子宮頸がんの病原ウイルスであるヒトパピローマウイルスの E7 抗原に対し特異的な T 細胞を活性化することで治療効果を発揮いたしますが、この度、動物実験において、CIN 治療ワクチンと一緒にある種の漢方薬を経口で投与すると、腸管粘膜組織において目的の T 細胞の活性化がさらに増強されることが示されました。この抗原特異的な細胞傷害性 T 細胞は、子宮頸がんの前がん病変のヒトパピローマウイルス感染細胞を選択的に攻撃、破壊いたします。

今回の漢方薬による増強効果は、CIN 治療ワクチン単独投与と比して 3 倍上昇することが示され、また、細胞性免疫活性化に深く関わる因子であるインターフェロンガンマやインターロイキン 2 の発現量も増強されることも確認されました。

当社はこの発見の権利化を目指すとともに当該漢方薬のような相乗効果を生む薬剤との併用効果の検討を進めて参ります。

現在、子宮頸がんに移行する前がん病変を治療する薬剤がなく、主な治療方法として子宮頸部円錐切除術が実施されておりますが、この手術は早産、低出生体重、帝王切開のリスクが高まることが指摘されていることから、この手術の回避が可能になる本治療ワクチンの早期実現が期待されます。

本件による本年度業績への影響はありません。

以上